



Kuroda International

黒田 毅

#### スマートシティと新しいデジタルシステムの提案

IoTにおける通信インフラは、その発進装置をデジタル信号において行い、スマートフォン、自動運転システム、ビッグデータにおける管理など、そのデジタル社会における基幹インフラとして整備する。これらはデータの送付をWEB3における新しい環境を基盤として提案し、個別化した情報の発信を行う。これらはビル、店舗、信号、携帯基地局などに発信機を設置し、データの発信において、自動運転や、自動化した、社会システムの構築を行う。

これらは携帯電話や電気自動車が、自己発信機を有し、それらの認識と分析を個別アプリケーションシステムにおいて行い、デジタル化と自動化した、社会システムの構築を実現するものである。

これらは、デジタル社会が、データと分析を個別IT環境において行い、自動化した新しい社会の構築を実現できるのである。これらはクラウドにおけるビッグデータの管理分析などにおける新たなサービスの創出を可能とする。

これらは既存アナログ社会が、完全にデジタル社会へ転換することであり、全てのデジタルデータは、統一したコンピュータ、携帯電話における通信端末としての利用において、これらデジタルサービスの構築を行うものである。

これらはビックデータのクラウドにおける管理と WEB3 基準における独立した、自己 IT 環境、デジタル通貨とスマートマネー、などにおいてすべてのアナログ社会からデジタル化における新しい社会への転換を実現するものである。

これらは既存のスマートフォンや PC から、簡易通信端末におけるデジタルサービスの標準化した利用とデジタルパスポートとしての提案を提案するものである。

これらは、既存インフラを活用し、デジタル社会への転換を行うものであり、すべてのデジタルサービスは通信端末におけるサービスの標準化を提供するものである。

これら自動運転システムは、ナビゲーションにおけるデータ分析と発信機の認識における完全な自動運転環境を整備するものである。

また地図データとシンクロするすべてのデジタルサービスの標準化は、通信端末やナビゲーションにおけるこれらサービスの利用環境を規格化し提案するものである。

これらは生活における通信端末における利用やカーナビゲーションにおける活用を提供するものである。

ビジネスユースにおいても、ビックデータの管理分析におけるクラウドホストの構築は、通信端末におけるこれらサービスの利用を提供するものである。

これら新たな通信と交通、社会インフラは、ソサエティ 5.0 という新しい自己基準における社会転換を提案するものである。

ラフデザインとイメージ

これらは全ての社会現実とサービスのデジタル化を標準化した規格において提案するものであり、これらは、コンピュータと CPU におけるデジタルデータの分析とサービスの構築において、その新しい社会システムと生活スタイルの創造を提案するものである。

これらは通信端末が全てのサービスの利用の基本であり、端末とデジタルパスポートにおけるこれらデジタル社会への参加は、その多様化するデジタル社会におけるサービスを利用、参加するものである。

これらは電気自動車が完全に自動化運転を実現するものであり、ナビゲーションにおけるデジタルサービスの利用と走行データの管理分析における自動運転システムは、新しい社会における交通基準を実現するものである。